

追加特記仕様書①

1. 目的

本業務は、志摩市が管理する橋梁の現状を把握し、橋梁の維持管理に必要となる基礎資料を得ることを目的とする。

2. 適用図書

本業務の橋梁点検、健全度評価に関する作業については、「志摩市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」、「道路橋定期点検要領 平成 31 年 2 月（国土交通省道路局）」によること。

3. 点検従事者について

点検業務に従事する者のうち 1 名は、「三重県橋梁点検技術者講習会」を受講し、受講証明書の交付を受けた者とする。

4. 点検業務について

（1）計画準備

①業務計画書

- ・志摩市より貸与された資料等をもとに、業務計画書を作成する。
- ・業務計画書には、「三重県橋梁点検技術者講習会」の受講証明書を添付すること。

②図面作成

- ・受注者において現地調査をおこない、現場用チェックシート⑤の概略図及び点検要領に基づく点検に必要な概略図を作成すること。

（2）現地踏査

- ・橋梁点検に先立って現地調査を行い、点検計画を策定するために必要な、進入路、交通状況等を把握すること。

（3）関係機関協議

- ・他機関との協議が必要な橋梁については、関係機関との協議に必要な資料の収集・作成を行う。

（4）点検

- ・「志摩市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」に基づき点検を行う。また、必要に応じて橋梁台帳の記載事項（塗装面積、高欄の種類、落橋防止施設の種類等）を補完するために現地で調査を行う。点検の結果、損傷が確認されなかった部材についても写真撮影すること。なお、支承については、各支点（橋台・橋脚）で 1 ヶ所写真を撮影すること。
- ・支承等に土砂が被さっている場合は、それを撤去したうえで点検をおこなうこと。
- ・現地踏査の結果、点検方法が当初想定（梯子・点検車）と変更となる場合は、監督職員と協議し承諾を得ること。

(5) 点検調書作成

- ・点検結果をもとに、「志摩市橋梁点検要領（案）平成 29 年 6 月」の現場用チェックシート①～⑤を清書し、写真等の整理を行う。
- ・また、点検結果を、発注者が提供するエクセルシートに入力すること。

(6) 健全性評価

- ・点検結果もとに、部材毎に健全性を診断するとともに橋梁毎の健全性を診断し、「道路橋定期点検要領 平成 31 年 2 月」の点検表記録様式に記録する。

(7) 打合せ

- ・作業計画書をもとに、調査方法、内容等を打ち合わせるとともに、発注者より橋梁点検に必要な資料等の貸与を受けること。

(8) 安全管理

- ・本業務を実施するにあたり、本特記仕様書に定める図書のほか、関連法令等を遵守し、作業の安全確保に努めること。
- ・交通誘導警備員については、点検車による調査箇所において配置すること。

(9) 土地の立ち入り等について

- ・本業務を実施するために第三者の土地に立ち入る場合、または、第三者所有の草木等の伐採が必要な場合は、受注者において了解を得ること。

(10) その他

- ・本特記仕様書に定めのないものは、「三重県業務委託共通仕様書」によるものとする。
- ・本業務完了後の健全度評価照査業務等により錯誤等が見つかった場合は、資料の修正等について受注者はできるだけ協力すること。